様式３

解体業の事業の用に供する施設の概要

（１）事業所の施設一覧

事業所の名　称：

所在地：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 施　　設　　内　　容 | 有 | 無 |
| 解体前保管 | ① | 引き取った使用済自動車（解体自動車）を解体するまでの間保管するための施設 |  |  |
| ② | 解体作業場以外の場所で廃油、廃液が漏出するおそれのある使用済自動車（老巧化した使用済自動車や事故にあった使用済自動車）の保管施設 |  |  |
| 解体作業 | ③ | 燃料抜取場所（解体作業場以外の場所で燃料の抜き取りを行う場合） |  |  |
| ④ | 解体作業場 |  |  |
| ⑤ | 取り外した部品等（廃油、廃液を含む）を保管するための施設 |  |  |
| 解　保体　管後 | ⑥ | 解体自動車（解体した後に残る廃車ガラ）を保管するための施設 |  |  |
| 事　施業　設所　等に係る | ⑦ | 油水分離装置 |  |  |
| ⑧ | ためます |  |  |
| ⑨ | 事業所全体の囲い |  |  |

※　上記の①～⑨の有無について、許可申請書に記入した事業所ごとに○印を付けてください。

※　該当する施設内容について、「（２）施設の概要」を添付してください。

※　複数の事業所がある場合は、この用紙を繰り返し設けて記入してください。

（２）施設の概要

①引き取った使用済自動車（解体自動車）を解体するまでの間保管するための施設

|  |  |
| --- | --- |
| 保管する自動車の区分 | ア　使用済自動車イ　解体自動車ウ　使用済自動車及び解体自動車 |
| 保管の面積 | 　　　　　ｍ２　（幅　　　ｍ　×　奥行　　　ｍ） |
| 保管の高さ | 　　　　　ｍ |
| 保管場所の囲い、仕切の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　囲いの高さ：　　　　ｍ　形　　　状：　　　　　 |
| ＜無の場合＞　保管場所区域の明確化方法： |
| 保管の状況 | 屋内　・　屋外 |
| ＜屋外の場合＞　覆い又は屋根の有無　　　　　有　・　無 |
| 床面の舗装状況 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞鉄筋コンクリート　（厚さ　　　ｃｍ）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 排水溝の有無 | 有　　・　　無 |

※　複数の保管施設を設けて保管する場合は、この用紙を繰り返し設けて記入してください。

　※　囲いの形状：ブロック塀、金属板、ネットフェンス、トタン等

　※　保管場所区域の明確化方法：保管場所の境界にカラーコーンを置く、ロープ等の目印となるものを地面に固定する、床面に白線を引く等

①引き取った使用済自動車（解体自動車）を解体するまでの間保管するための施設の写真

　　施設全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。

　　また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

②解体作業場以外の場所で廃油、廃液が漏出するおそれのある使用済自動車の保管施設

|  |  |
| --- | --- |
| 保管の面積 | 　　　　　ｍ２　（幅　　　ｍ　×　奥行　　　ｍ） |
| 保管の高さ | 　　　　　ｍ |
| 保管場所の囲い、仕切の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　囲いの高さ：　　　　ｍ　形　　　状：　　　　　 |
| ＜無の場合＞　保管場所区域の明確化方法： |
| 保管の状況 | 屋内　・　屋外 |
| ＜屋外の場合＞　覆い又は屋根の有無　　　　　有　・　無 |
| 床面の舗装状況 | 鉄筋コンクリート　（厚さ　　　ｃｍ）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 排水溝の有無 | 有　　・　　無 |

※　囲いの形状：ブロック塀、金属板、ネットフェンス、トタン等

※　保管場所区域の明確化方法：保管場所の境界にカラーコーンを置く、ロープ等の目印となるものを地面に固定する、床面に白線を引く等

②解体作業場以外の場所で廃油、廃液が漏出するおそれのある使用済自動車の保管施設の写真

　　施設全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。

　　また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

③燃料抜取場所（解体作業場以外の場所で燃料の抜き取りを行う場合）

|  |  |
| --- | --- |
| 面　積 | 　　　　　ｍ２　（幅　　　ｍ　×　奥行　　　ｍ） |
| 使用済自動車から燃料を抜き取る装置の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　装置の能力：　　　　 |
| 場所の状況 | 屋内　・　屋外 |
| ＜屋外の場合＞　覆い又は屋根の有無　　　　　有　・　無 |
| 床面の舗装状況 | 鉄筋コンクリート　（厚さ　　　ｃｍ）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ためます及びこれに接続している排水溝の有無 | 有　　・　　無 |
| 備　考 |  |

　※　解体作業場の排水を処理するために設けた油水分離装置と共用の場合は、その旨を備考欄に記入してください。

③燃料抜取場所（解体作業場以外の場所で燃料の抜き取りを行う場合）の写真

　　場所全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。

　　また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

④解体作業場

|  |  |
| --- | --- |
| 面　積 | 　　　　　ｍ２　（幅　　　ｍ　×　奥行　　　ｍ） |
| 使用済自動車から廃油（自動車の燃料を除く）及び廃液を回収する装置の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　装置の能力：　　　　 |
| 床面の舗装状況 | 鉄筋コンクリートその他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　油水分離装置の容量　：　　　　ｍ３　油水分離装置の槽の数：　　　　槽 |
| 場所の状況 | 屋内　・　屋外 |
| ＜屋外の場合＞　覆い又は屋根の有無　　　　　有　・　無 |

　＜解体作業場に屋根等がない場合の油水分離装置の算定式＞

　　まず、合理式（ラショナル式）を用いて、雨水流出量：Ｑ（ｍ３／sec）を算定します。

　　Ｃ：流出係数、Ｉ：降雨強度（mm／h）、Ａ：集水面積（ｍ２）

次に雨水流出量：Ｑから、油水分離装置の容量：Ｖ（ｍ３）を算定します。

　　Ｔ：滞留時間（ｈ）

　　実際の算定では、Ｃ＝0.95、Ｉ＝29.56（県東部）、Ｉ＝29.61（県西部）を使用してください。

　　【計算例】

　　　［条件］油水分離装置の滞留時間：２時間、解体作業場の面積：25ｍ２、Ｉ＝29.56

　　　（ｍ３／sec）

　　　 ｍ３

④解体作業場の写真

　　場所全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。

　　また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

　⑤取り外した部品等（廃油、廃液含む）を保管するための施設

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 取り外した部品の名称 | 場　　所 | 屋根、覆い等の有無 | 床面の状況 | 備　　考 |
| １ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ２ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ３ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ４ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ５ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ６ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |
| ７ |  | 屋内・屋外 | 有・無 |  |  |

　※　取り外した部品等：燃料、廃油、廃液、エアバッグ、鉛蓄電池、タイヤ、室内照明用蛍光灯、

　　　　　　　　　　　　非鉄金属（アルミ等）、内外装部品、ガラス類、エンジン、金属スクラップ、その他部品等

　※　保管設備として、使用済トラックから取り外した幌付き荷台、鋼製の受け皿を使用する場合は、その旨を備考欄に記入してください。

　※　廃油、廃液等の保管設備として、容器を用いる場合は容器の材質、数量を備考欄に記入してください。

⑤取り外した部品等（廃油、廃液含む）を保管するための施設の写真

　　　施設（容器等を含む）全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

⑥解体自動車（解体した後に残る廃車ガラ）を保管するための施設

|  |  |
| --- | --- |
| 保管の面積 | 　　　　　ｍ２　（幅　　　ｍ　×　奥行　　　ｍ） |
| 保管の高さ | 　　　　　ｍ |
| 保管場所の囲い、仕切の有無 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞　囲いの高さ：　　　　ｍ　形　　　状：　　　　　 |
| ＜無の場合＞　保管場所区域の明確化方法： |
| 保管の状況 | 屋内　・　屋外 |
| ＜屋外の場合＞　覆い又は屋根の有無　　　　　有　・　無 |
| 床面の舗装状況 | 有　・　無 |
| ＜有の場合＞鉄筋コンクリート　（厚さ　　　ｃｍ）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の有無 | 有　　・　　無 |

※　囲いの形状：ブロック塀、金属板、ネットフェンス、トタン等

※　保管場所区域の明確化方法：保管場所の境界にカラーコーンを置く、ロープ等の目印となるものを地面に固定する、床面に白線を引く等

⑥解体自動車（解体した後に残る廃車ガラ）を保管するための施設の写真

　　施設全体が含まれるもの、床面の舗装状況が分かるものを添付してください。

また、屋根・覆い等がある場合は、その状況が分かるものを添付してください。

|  |
| --- |
|  |

⑦油水分離装置の写真

|  |
| --- |
|  |

⑧ためますの写真

|  |
| --- |
|  |

⑨事業所全体の囲いの写真

|  |
| --- |
|  |

（３）解体業を行おうとする事業所以外の場所で使用済・解体自動車の積替え又は保管を行う場所の施設一覧

積替え又は保管場所の名　称：

所在地：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 施　　設　　内　　容 | 有 | 無 |
| 解体前保管 | ① | 引き取った使用済自動車（解体自動車）を解体するまでの間保管するための施設 |  |  |
| ② | 解体作業場以外の場所で廃油、廃液が漏出するおそれのある使用済自動車（老巧化した使用済自動車や事故にあった使用済自動車）の保管施設 |  |  |
| 解　保体　管後 | ③ | 解体自動車（解体した後に残る廃車ガラ）を保管するための施設 |  |  |
| 施設等 | ④ | 油水分離装置 |  |  |
| ⑤ | ためます |  |  |
| ⑥ | 積替え又は保管場所全体の囲い |  |  |

※　上記の①～⑥の有無について、許可申請書に記入した事業所ごとに○印を付けてください。

※　該当する施設内容について、「（２）施設の概要」を添付してください。

※　複数の積替え又は保管場所がある場合は、この用紙を繰り返し設けて記入してください。